

プラチナ四半期レポート プレゼンテーション
2026年第1四半期

於 ロンドン
2026年5月18日

免責条項: 当出版物は一般的なもので、唯一の目的は情報提供である。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルは、世界的大手プラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたもので、その使命は、具体的な行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて、現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物に掲載された2019年からのメタルズフォーカス社によるリサーチは、© Metals Focusが著作権を有するものである。当出版物に掲載されたデータの全ての著作権およびその他の知的財産権はメタルズフォーカス社に属し、発行者への第三者コンテンツ提供者である同社のみがその情報及びデータの中の知的財産権の登録をする権利がある。メタルズフォーカス社の分析、データ、その他の関連情報は掲載時点でのメタルズフォーカス社の判断を表したものであり、予告なく変更されることがある。当該データ及び解説のいかなる部分もメタルズフォーカス社の書面による承諾なしに資本市場（資金調達）のために使用することはできない。

当出版物に掲載された2019年以前のSFA社によるリサーチは、© SFAが著作権を有するものである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者およびコンテンツ提供者は、それが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者、コンテンツ提供者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者とコンテンツ提供者が、情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者とメタルズフォーカス社は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者とコンテンツ提供者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない。発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

© 2026 World Platinum Investment Council Limited. 禁無断転載。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルの名称、ロゴ、及び略称WPICはワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルの登録商標である。当出版物のいかなる部分もワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルおよび著者の許可なくして、いかなる方法によっても複製および配布されてはならない。

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供され、英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。

議題: プラチナ四半期レポート — 2026年第1四半期、 2026年の最新予測

1.初めに
CEO トレバー・レイモンド

2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズ
レビュー
エドワード・スターク

3.現在の主なテーマ
エドワード・スターク

4.質疑応答
トレバー・レイモンド
エドワード・スターク



議題: プラチナ四半期レポート — 2026年第1四半期、 2026年の最新予測

1.初めに

CEO トレバー・レイモンド

2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズ レビュー

- 需給バランス: 2026年第1四半期と
2026年の最新予測

リサーチ・ディレクター エドワード・スターク

3.現在の主なテーマ

エドワード・スターク

4.質疑応答

トレバー・レイモンド

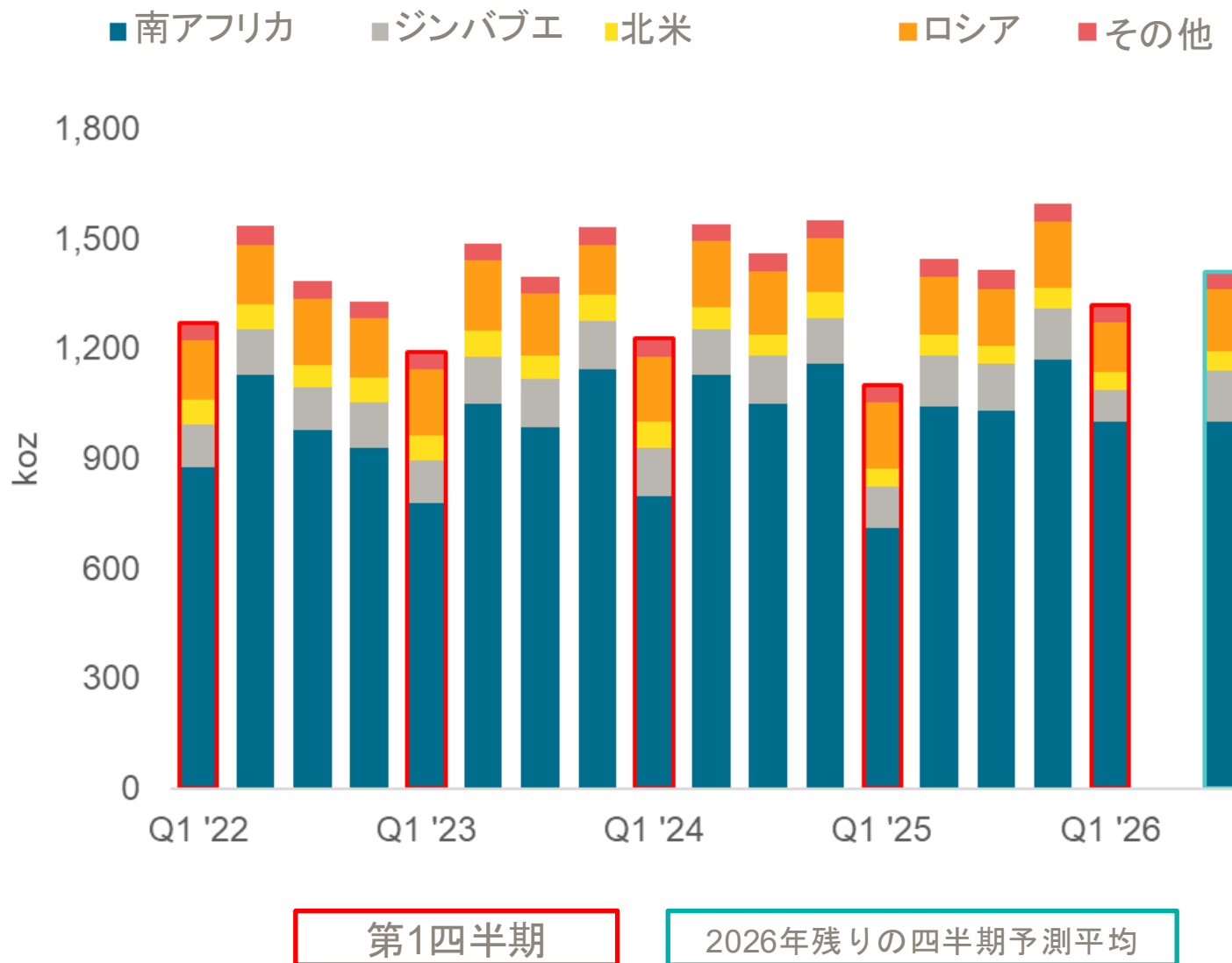
エドワード・スターク



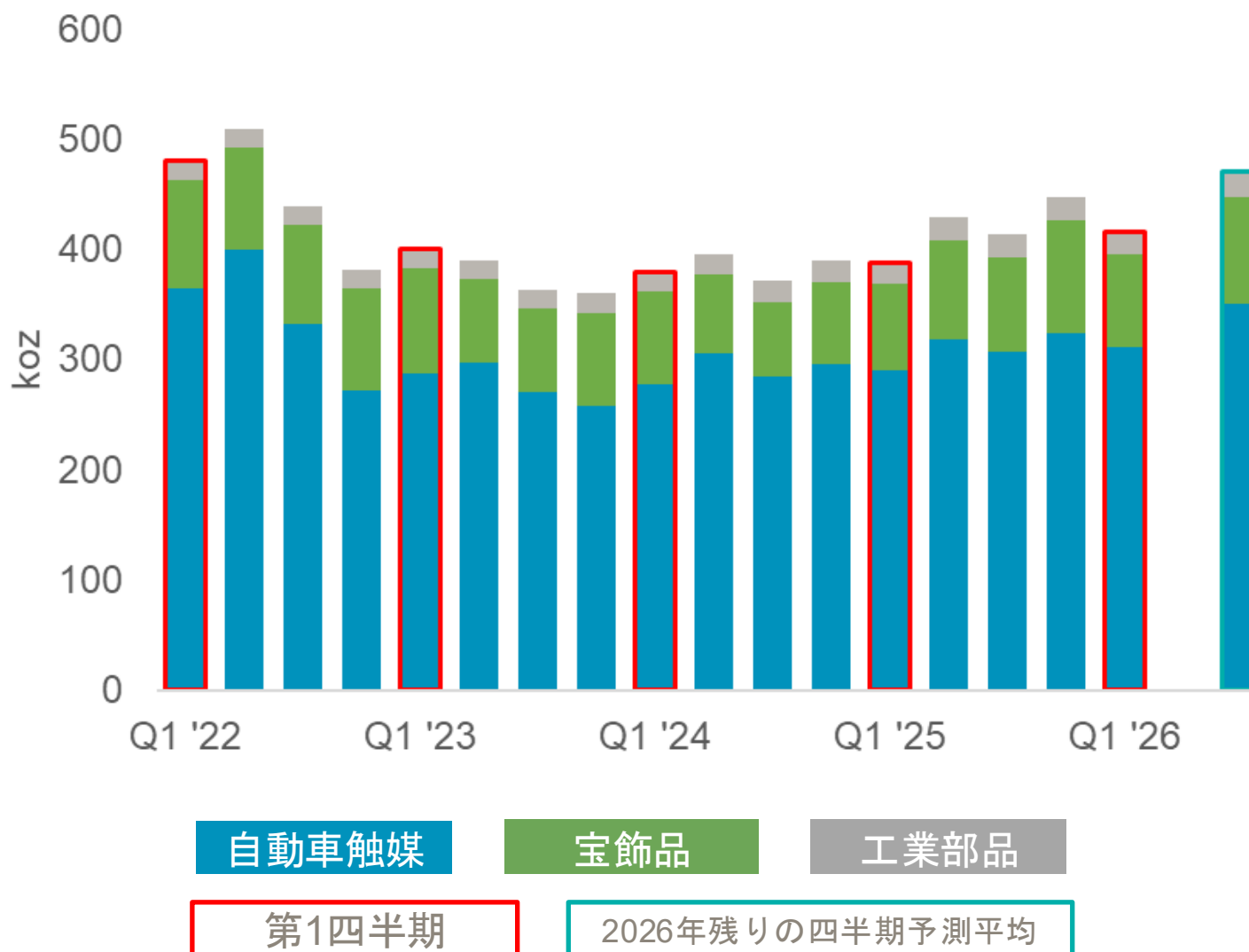
2026年第1四半期の供給: 鉱山生産、低いベースから大きく回復

供給	Q1 2025 // Q4 2025		Q1 2026	YoY	QoQ
精錬生産	1,101	1,597	1,320	20%	-17%
南アフリカ	711	1,171	1,002	41%	-14%
ジンバブエ	114	138	84	-26%	-39%
北米	49	55	50	1%	-10%
ロシア	180	183	136	-24%	-26%
その他	47	49	48	2%	-1%
生産者在庫調整	-20	+29	+0	N/A	-100%
鉱山供給合計	1,081	1,626	1,320	22%	-19%
リサイクル	388	448	416	7%	-7%
自動車触媒	290	324	312	7%	-4%
宝飾品	78	102	84	7%	-18%
工業	19	21	21	8%	0%
供給合計	1,469	2,073	1,736	18%	-16%

2026年第1四半期の鉱山供給:第1四半期は5年ぶりの高い水準を達成



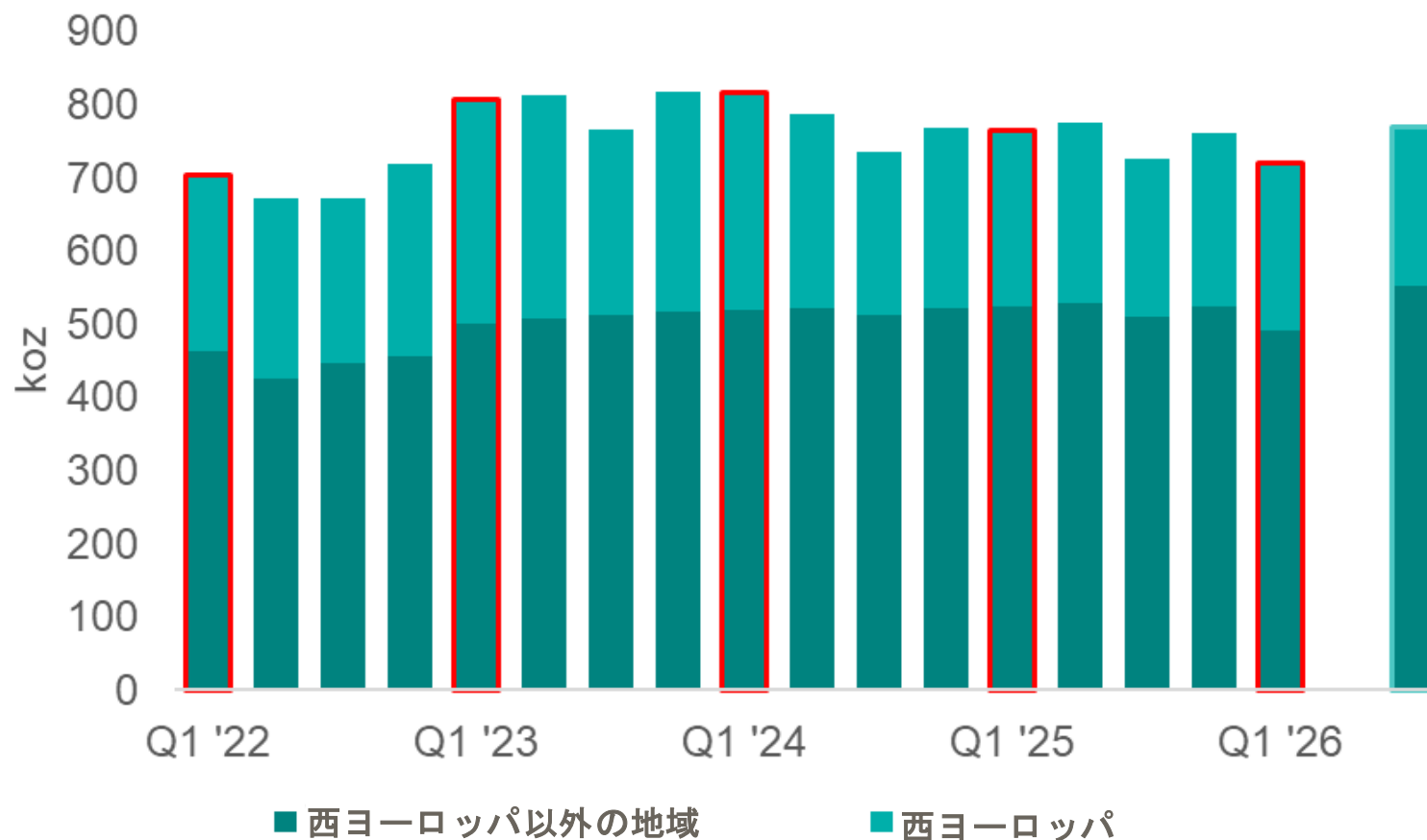
2026年第1四半期のリサイクル : PGM 価格の上昇が リサイクル供給を誘発



2026年第1四半期の需要: ETF と取引所在庫の流出が需要に重圧

需要	Q1 2025 // Q4 2025		Q1 2026	YoY	QoQ
自動車	766	762	720	-6%	-6%
自動車触媒	766	762	720	-6%	-6%
触媒以外の需要	†	†	†	†	†
宝飾品	532	519	461	-13%	-11%
工業	363	578	513	41%	-11%
化学	121	160	116	-4%	-27%
石油	45	45	33	-28%	-28%
電子材	22	27	28	25%	4%
ガラス	-71	89	94	N/A	5%
医療とバイオ医療	78	81	78	0%	-5%
水素(定置型とその他)	17	22	18	9%	-16%
その他	151	153	146	-3%	-5%
投資	465	412	-225	N/A	N/A
インゴットとコイン需要の変化	74	118	105	42%	-11%
中国の500g以上のインゴット	35	49	44	25%	-10%
ETF保有高の変化	-6	263	-255	N/A	N/A
取引所在庫の変化	361	-18	-119	N/A	N/A
需要の合計	2,127	2,271	1,468	-31%	-35%
需給バランス	-658	-198	268	N/A	N/A

2026年第1四半期 自動車需要: 電動化と共に世界的に自動車需要低下



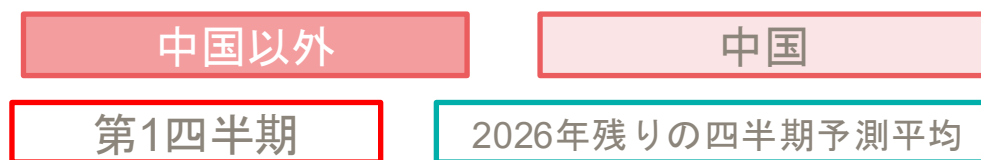
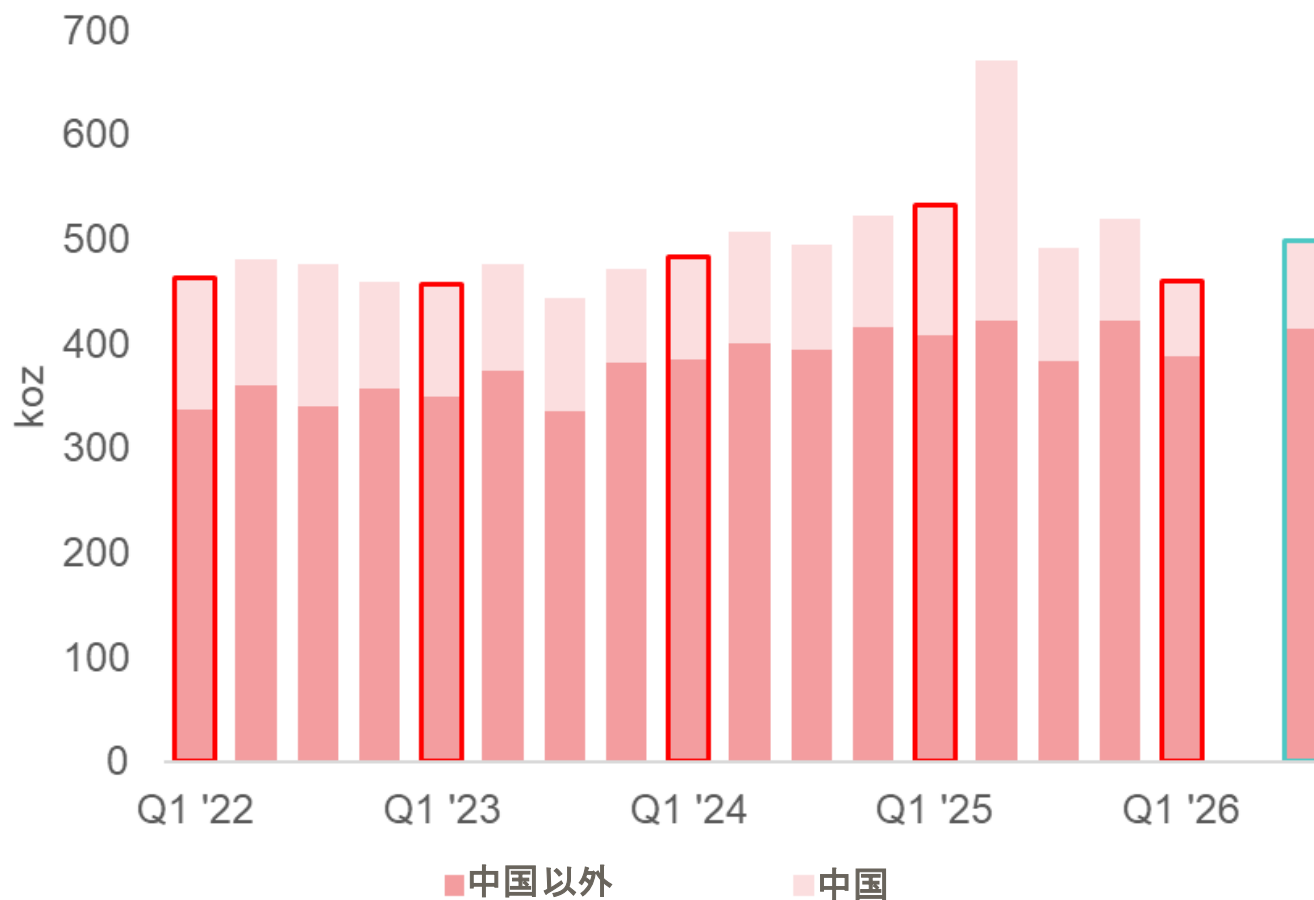
西欧以外の地域

西ヨーロッパ

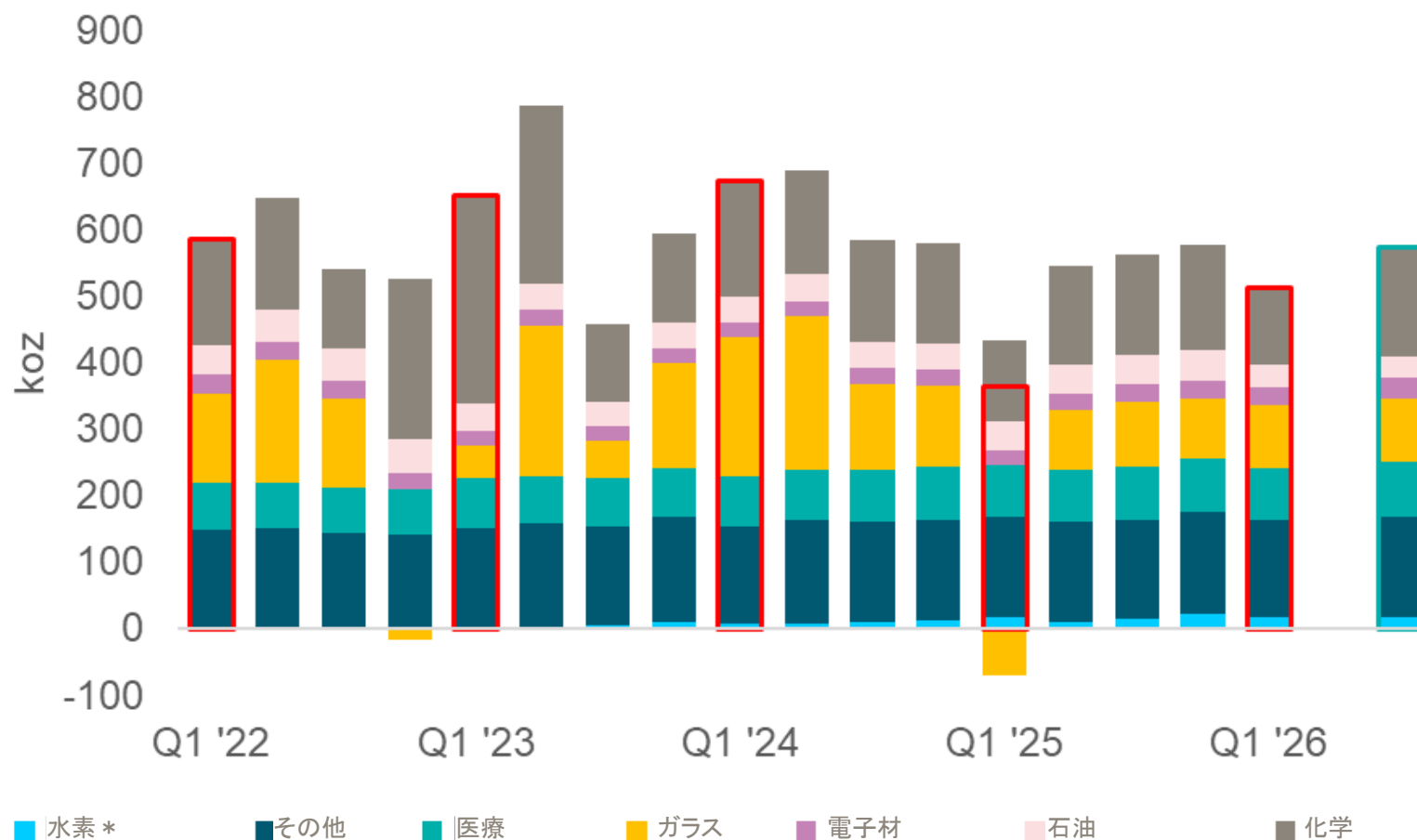
第1四半期

2026年残りの四半期予測平均

2026年第1四半期 宝飾品需要: 価格上昇で中国の 四半期需要は過去最低



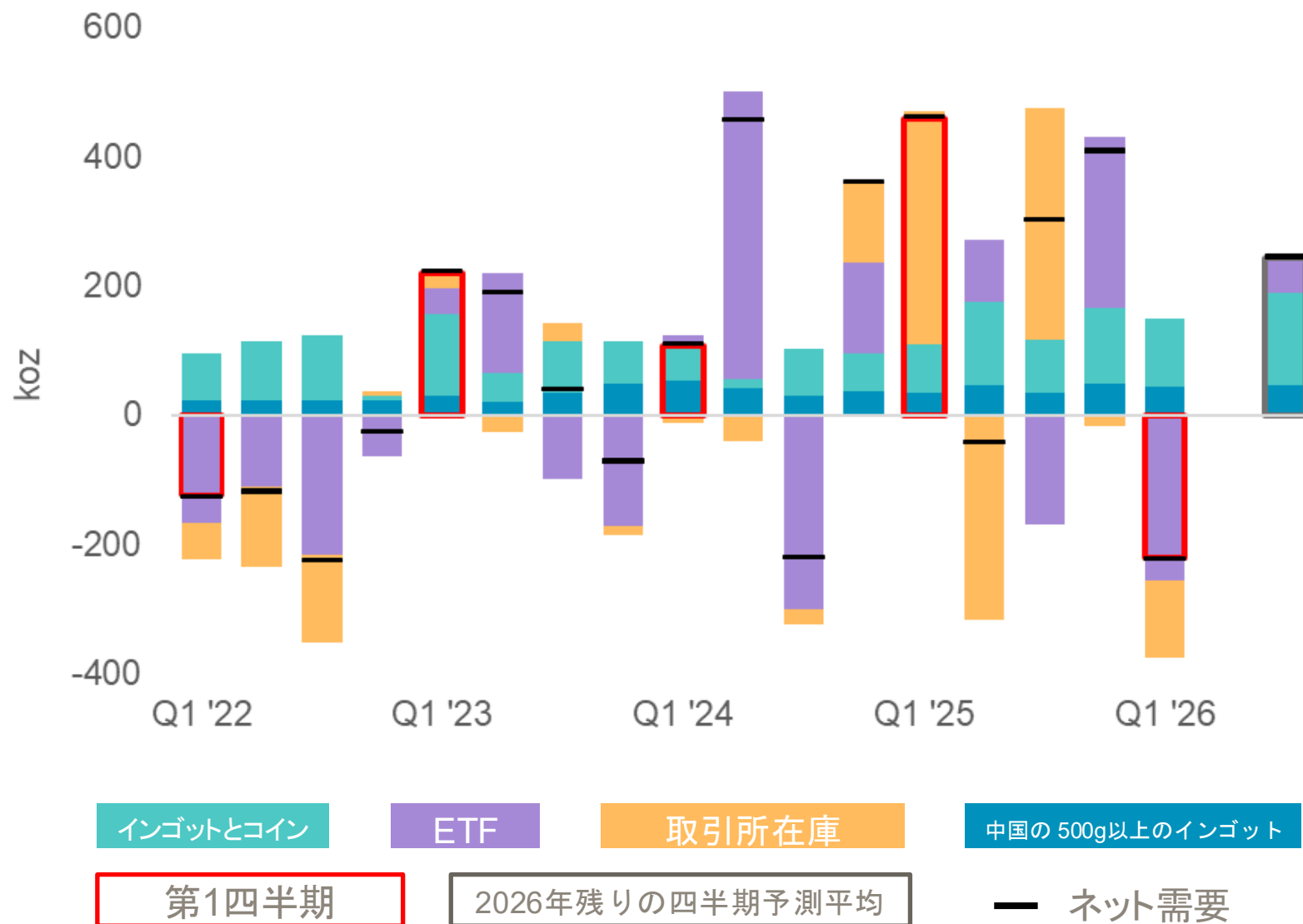
2026年第1四半期 工業需要: ガラス需要の平常化で 工業需要は全般的に増加



第1四半期

2026年残りの四半期予測平均

2026年第1四半期の投資需要: 利食い売りとポートフォリオのリバランスでETF から資金流出

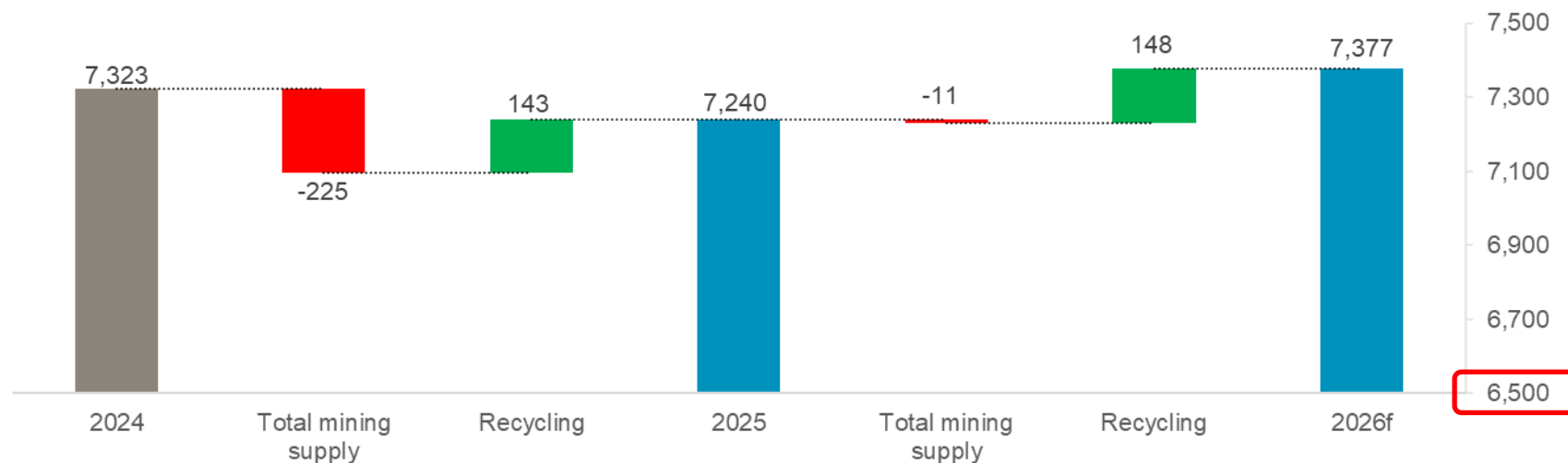


2026年全体: プラチナ市場の供給不足は、過去最大の2025年を経て、2026年は縮小予測

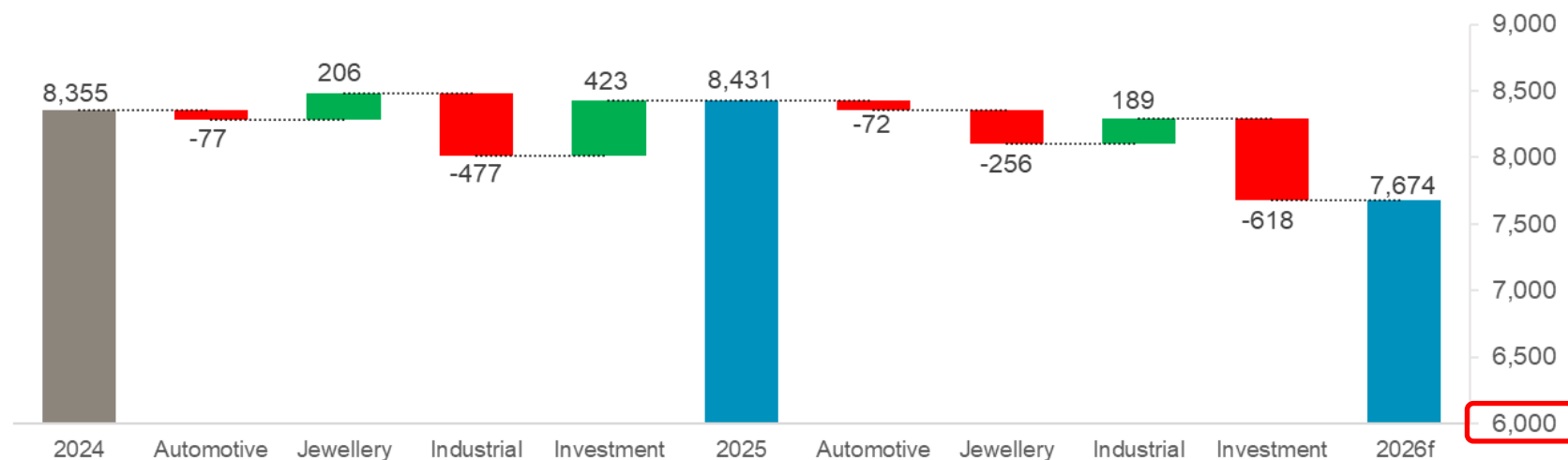
供給 (koz)	2024	2025	YoY, %	2026f	YoY, %
精錬生産	5,777	5,557	-4%	5,551	0%
南アフリカ	4,133	3,957	-4%	4,005	1%
ジンバブエ	512	516	1%	508	-2%
北米	265	212	-20%	201	-5%
ロシア	677	677	0%	646	-5%
その他	191	196	3%	192	-2%
生産者在庫調整	10	4	-57%	0	-100%
鉱山供給合計	5,787	5,561	-4%	5,551	0%
リサイクル	1,536	1,679	9%	1,826	9%
自動車触媒	1,163	1,241	7%	1,365	10%
宝飾品	298	356	20%	373	5%
工業	76	81	7%	88	8%
供給合計	7,323	7,240	-1%	7,377	2%
需要 (koz)					
自動車触媒	3,108	3,031	-2%	2,959	-2%
宝飾品	2,008	2,214	10%	1,958	-12%
工業	2,526	2,049	-19%	2,238	9%
投資	713	1,136	59%	519	-54%
需要の合計	8,355	8,431	1%	7,674	-9%
需給バランス	-1,033	-1,191	N/A	-297	N/A
地上在庫	3,235	2,044	-37%	1,747	-15%

2026年の展望: 需要と供給は価格に反応も、市場は供給不足のまま

2024年から2026年(予測)の年間総供給量の変化(koz)



2024年から2026年(予測)の年間総需要量の変化 (koz)



議題: プラチナ四半期レポート — 2026年第1四半期、 2026年の最新予測

1.初めに

CEO トレバー・レイモンド

2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズ レビュー

エドワード・スターク

3.現在の主なテーマ

- 投資家の動向
- 自動車需要の最新
- 水素需要に活気

リサーチ・ディレクター エドワード・スターク

4.質疑応答

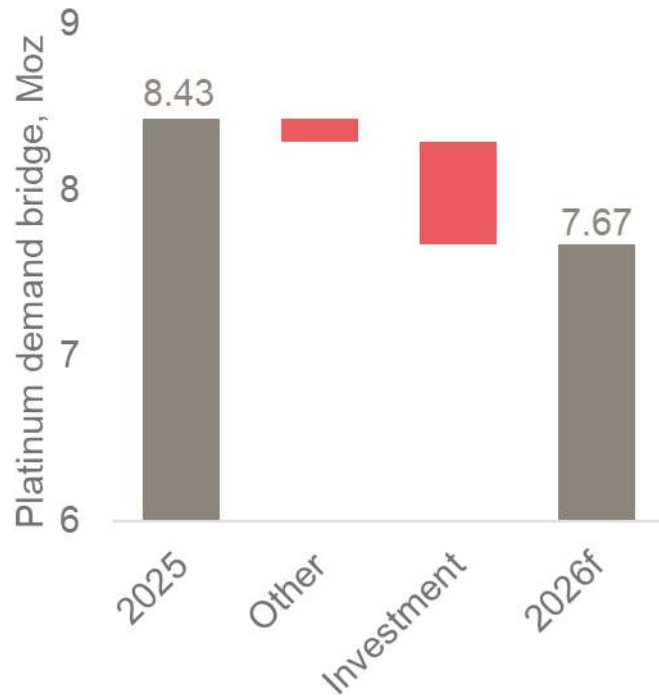
トレバー・レイモンド

エドワード・スターク

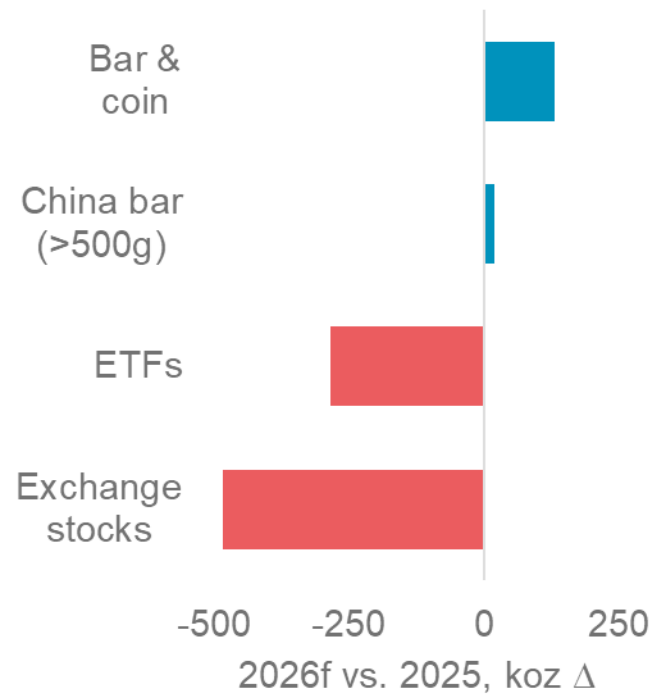


投資家の動向が 2026 年の方向性を決定も、第1四半期は非常に大きな影響

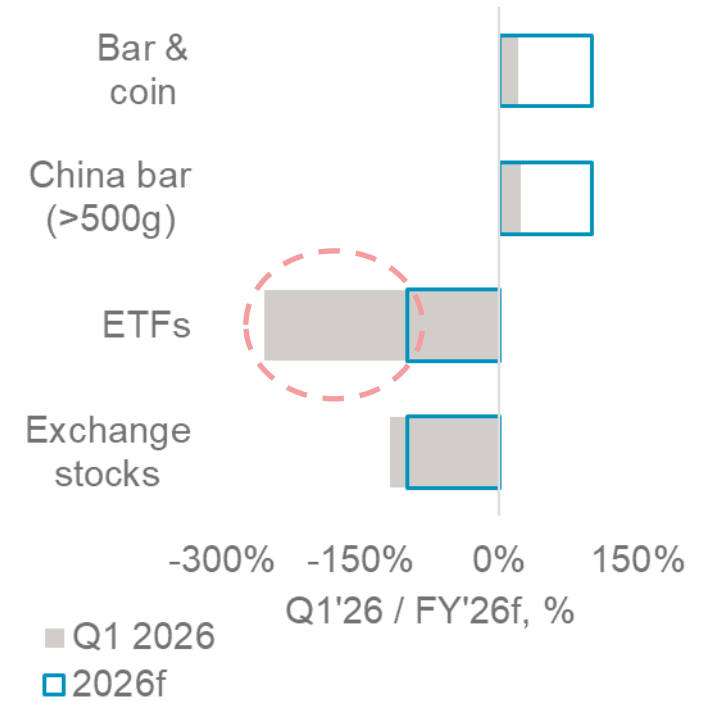
2025 年と 2026年(予測)のプラチナ需要 変動要因分析



2025年と 2026年予測における投資需要の推移



第1四半期と2026年の投資需要比較



投資需要は、前年比で 9% 減る2026年の需要予測のうちの約 80%を占める

ETF と 取引所在庫が2026年の投資需要予測に下方重圧

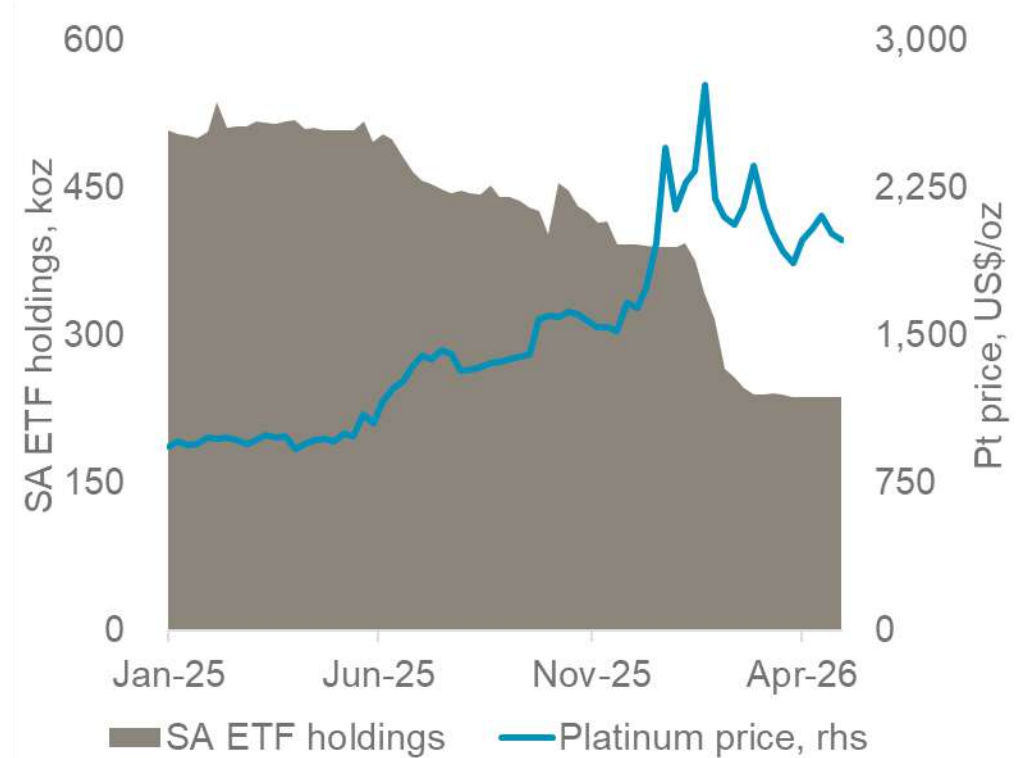
ETF 保有高は 2026年第1四半期に大きく減ったため、下半期に回復する予測

投資家の動向: 南ア ETF 保有高はメタル価格との関連性低い

メタル価格上昇サイクルでも
南アPGM 株のパフォーマンス勝る

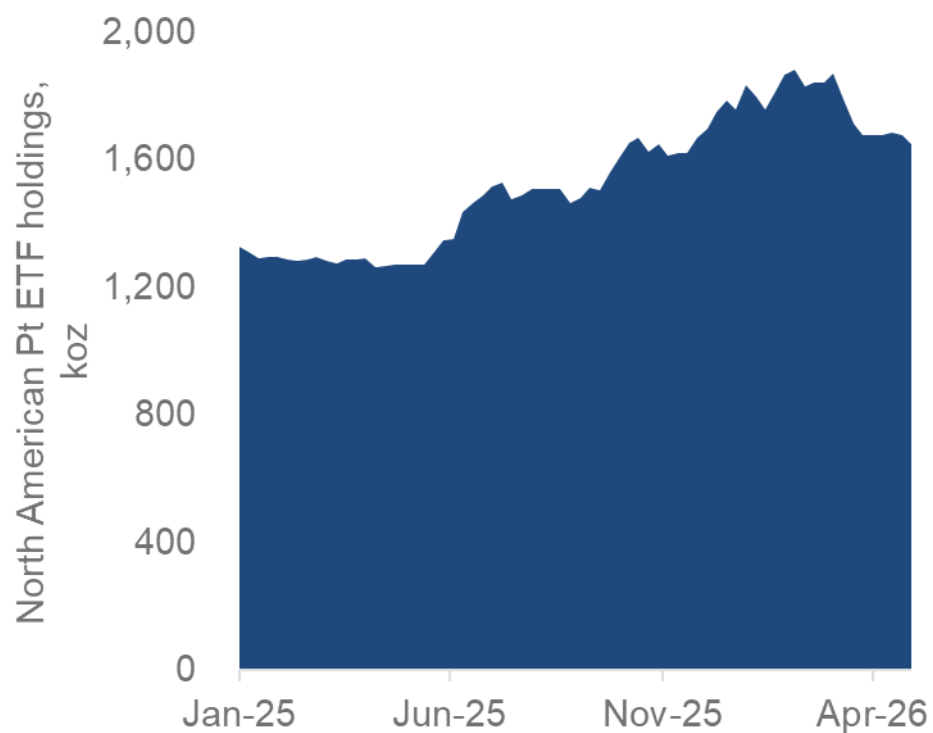


ETFから株へ資金が移動

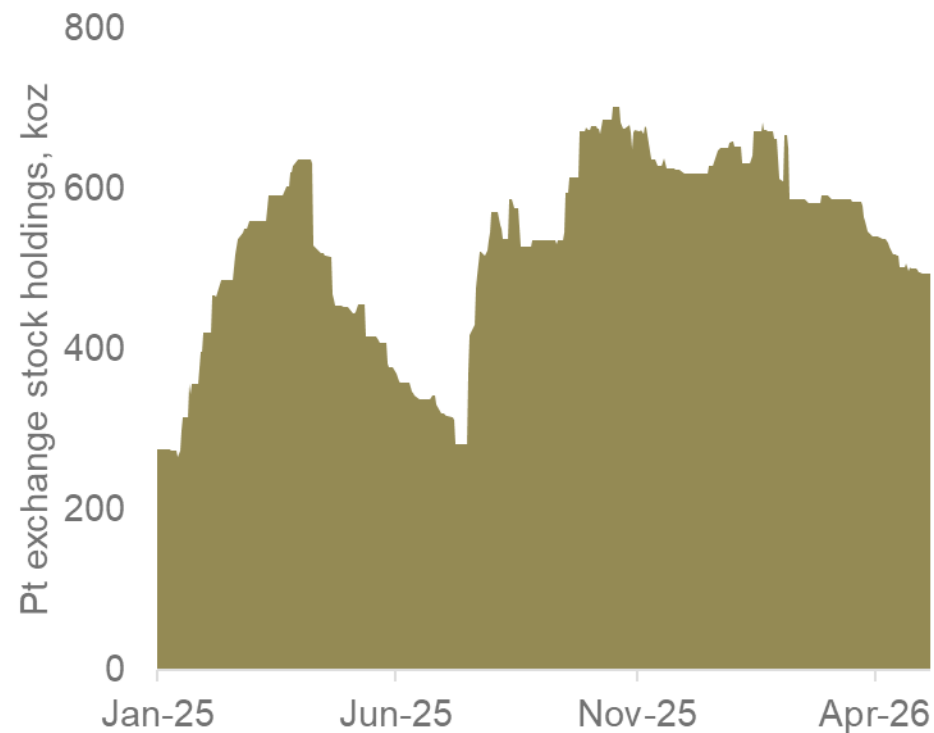


投資家の動向：北米の ETF 保有高はメタル価格との 関連性高い

北米の投資家は PGM 株の選択が少ないため
メタルそのものに直接投資



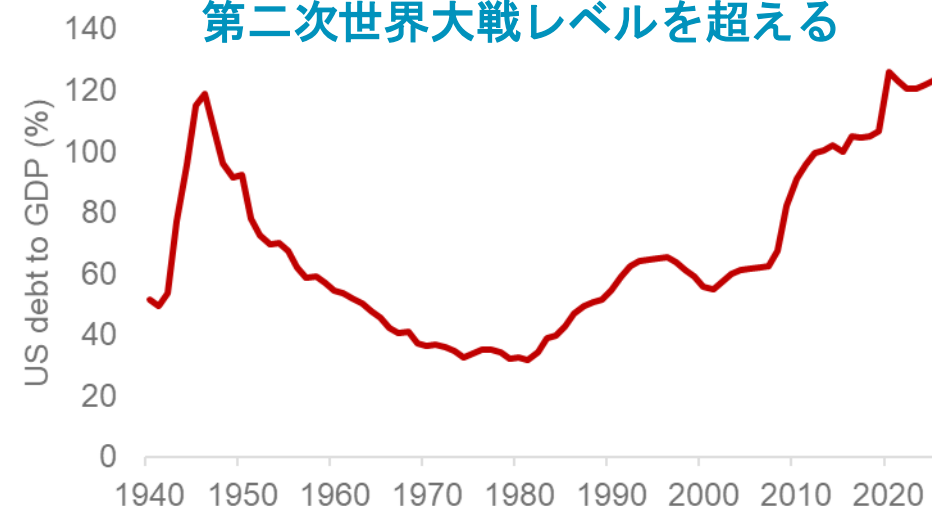
関税懸念が消えない中でプラチナも取引所
在庫への流入が増えている



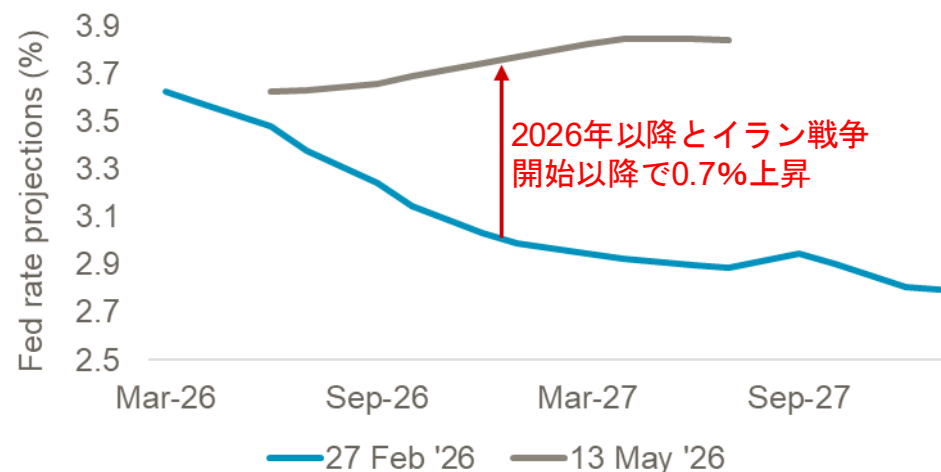
投資家の動向：下半期は投資家需要が回復するか？

- 外部要因によるインフレを背景とした利上げ予測は、政府が目指す債務管理ではない
- 新FRB議長に対して利下げ要求の政治的圧力が強まる可能性: ドル建てコモディティ価格にはプラス、ドルと債券利回りにはマイナス
- ゴールドに集中する資金がプラチナを含む他の貴金属に波及する可能性、機関投資家と個人投資家の需要がさらにそれを加速
- プラチナのファンダメンタルズと市場の逼迫で、プラチナはレバレッジ効果のある投資対象

米国債務:GDP 比率、 第二次世界大戦レベルを超える



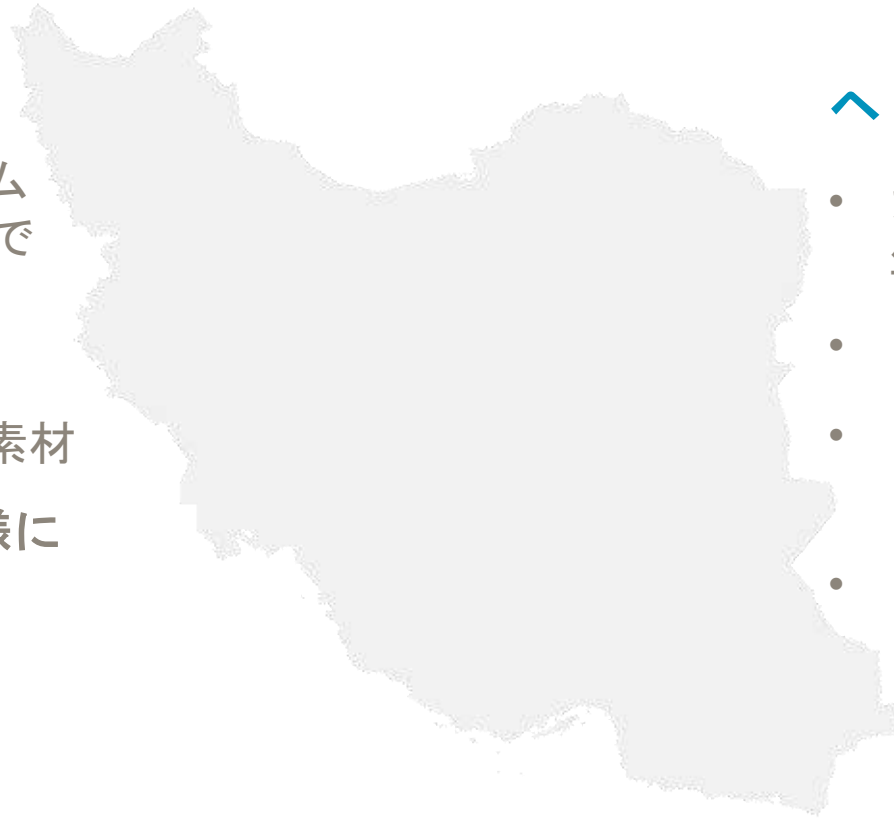
インフレで利上げ予測が高まる



イラン戦争: 長期化リスクは原油、エネルギー、インフレに留まらない

アルミニウム

- 中東は世界のアルミニウム生産の約 10% (中国以外で約20%)
- アルミニウム合金は自動車向けの高付加価値素材
- エンジン車も BEV も同様にリスク



ヘリウム

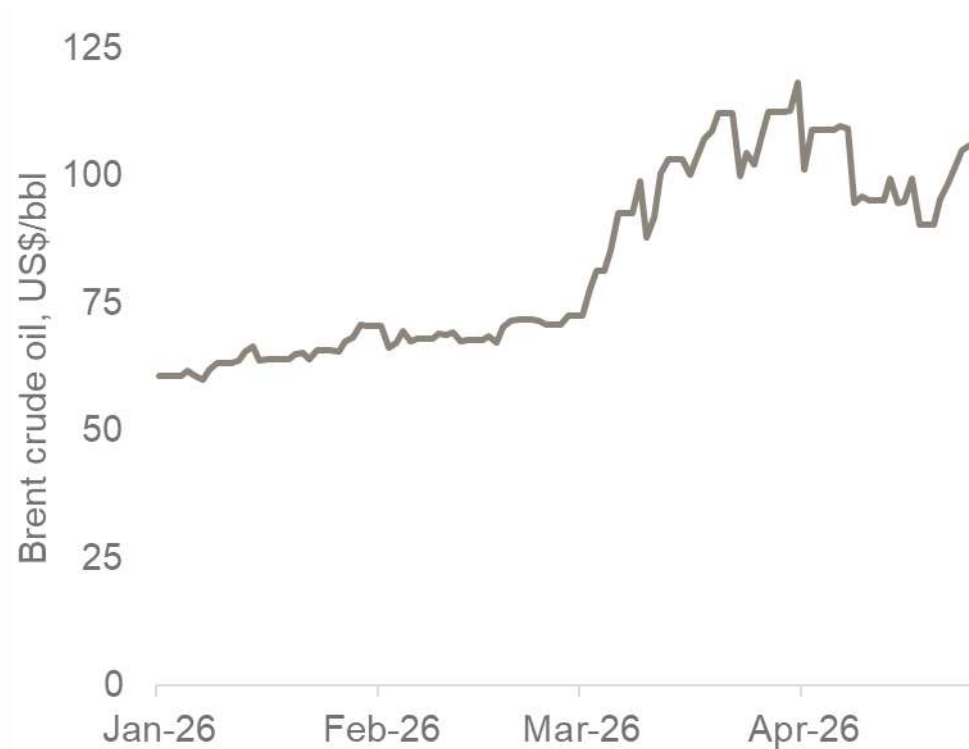
- カタール、世界のヘリウム生産の 33%
- 高性能半導体生産に不可欠
- 大手生産会社の在庫は8月まで
- BEV はより多くの半導体を使用

プラチナ需要への影響は?

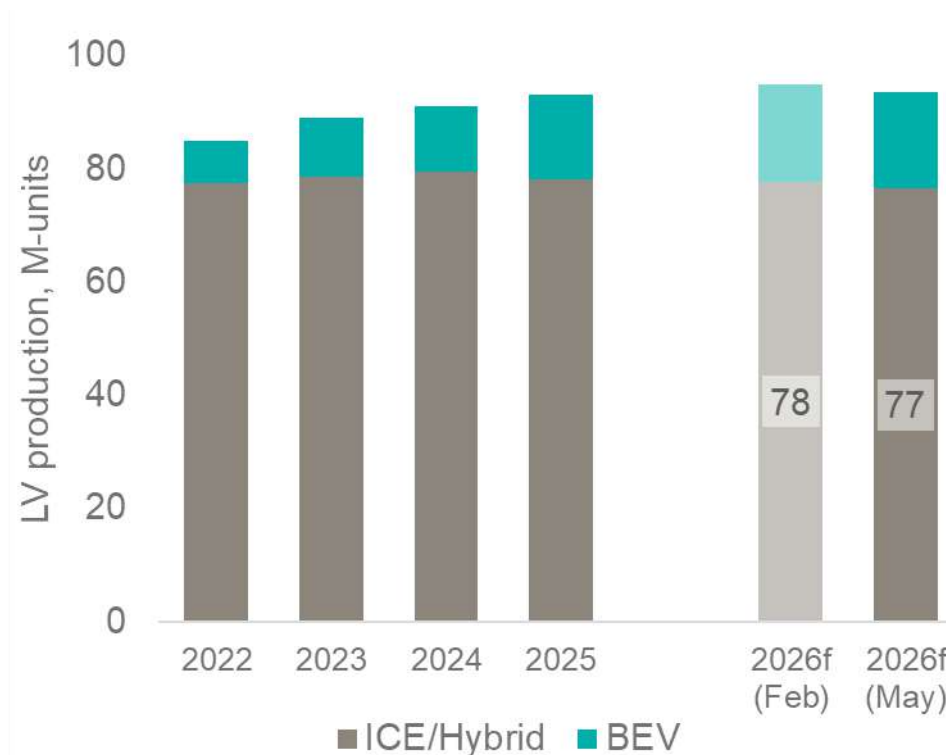
- 紛争が今の予測よりも長期化した場合のみ
- 新車生産に影響する可能性はあるが、メーカーはこれまでよりも供給体制強化、リサイクルにも影響

自動車需要の最新状況: エネルギー危機が ドライブトレインの選択にどう影響するか?

中東の供給制限で 世界の原油価格は上昇



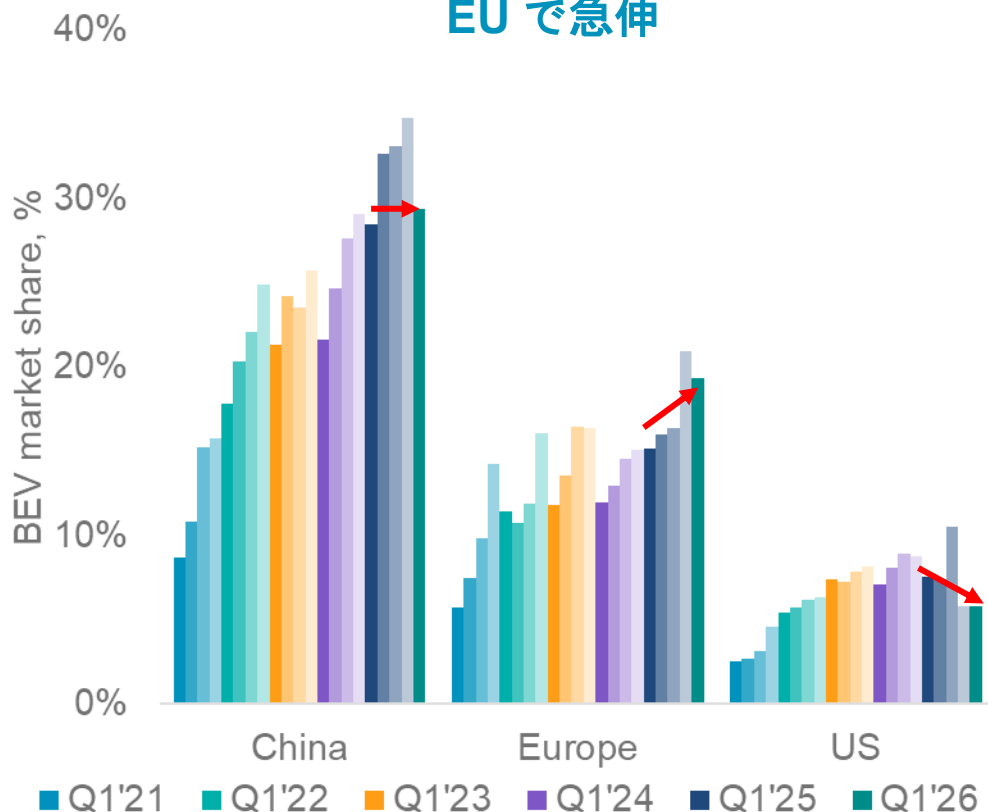
2026年の普通乗用車の伸び率予測は +1% に下方修正



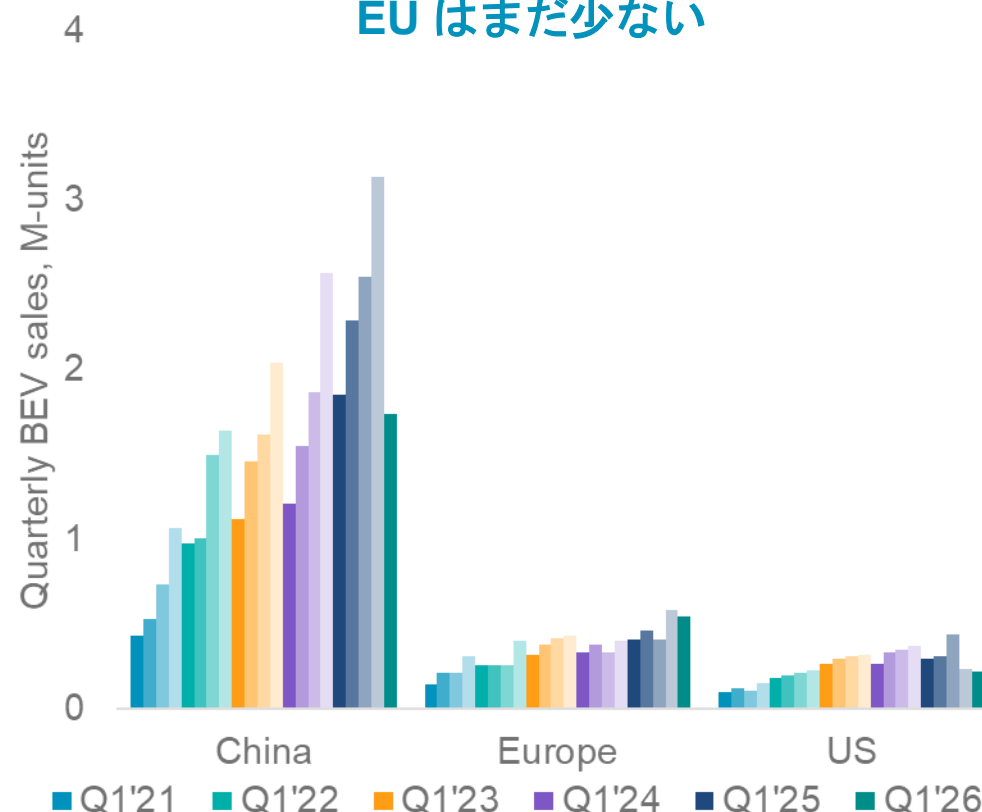
普通乗用車生産の予測修正は、中東と欧州に直接的な影響

自動車需要の最新状況：BEV 普及は地域ごとに異なる

地域別 BEV マーケットシェア、
EU で急伸



地域別 BEV 販売高、
EU はまだ少ない

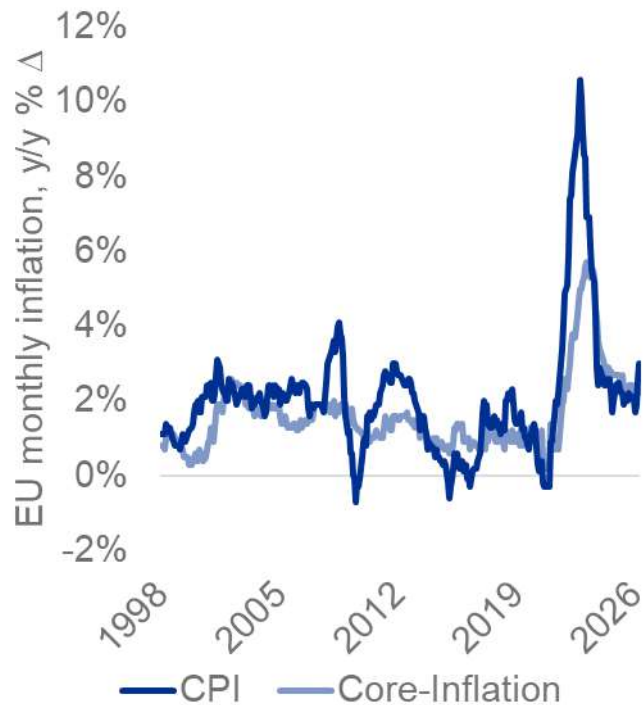


2026年第1四半期、エネルギー危機でもなぜ EU だけ BEV が伸びたか？

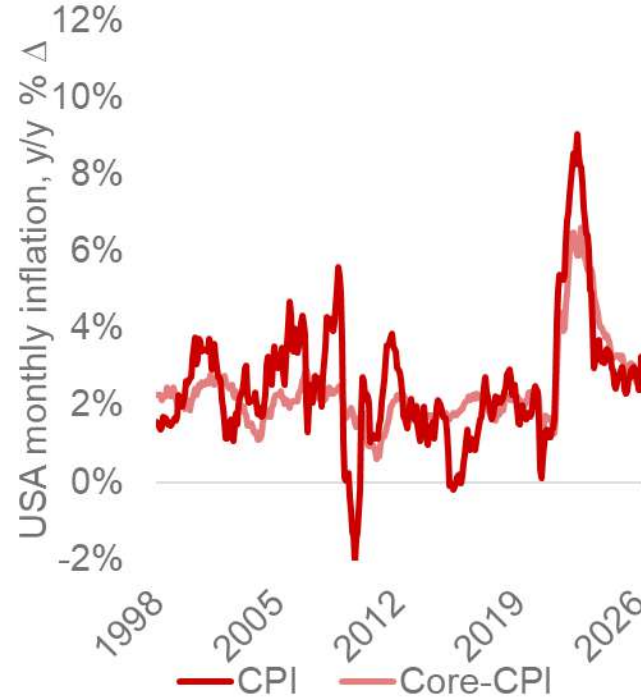
エネルギー危機に対する意識の高さと政策

自動車需要の最新状況：燃料価格が消費者の ドライブトレイン選択の決定要因

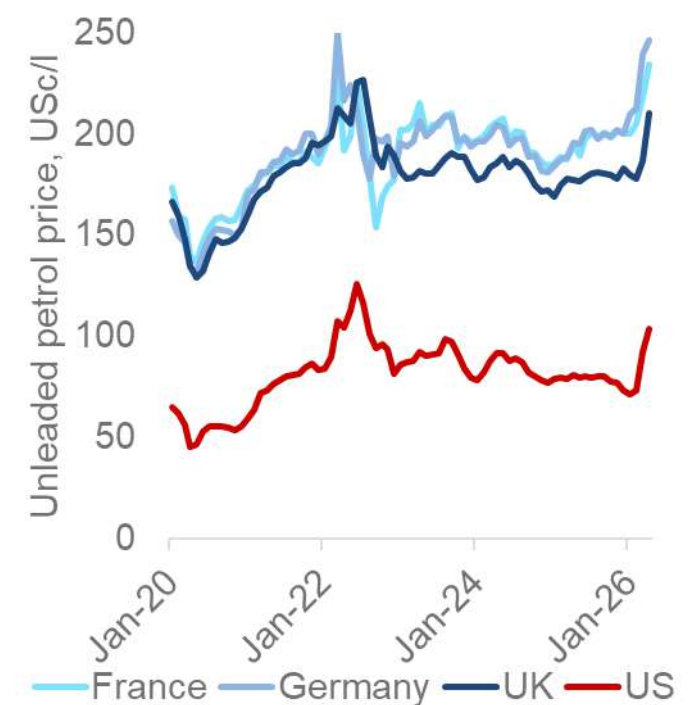
EU のインフレ率



US のインフレ率



ガソリン価格



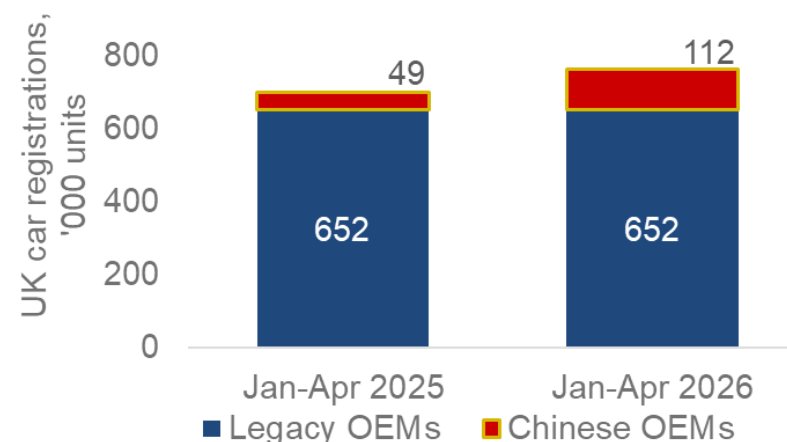
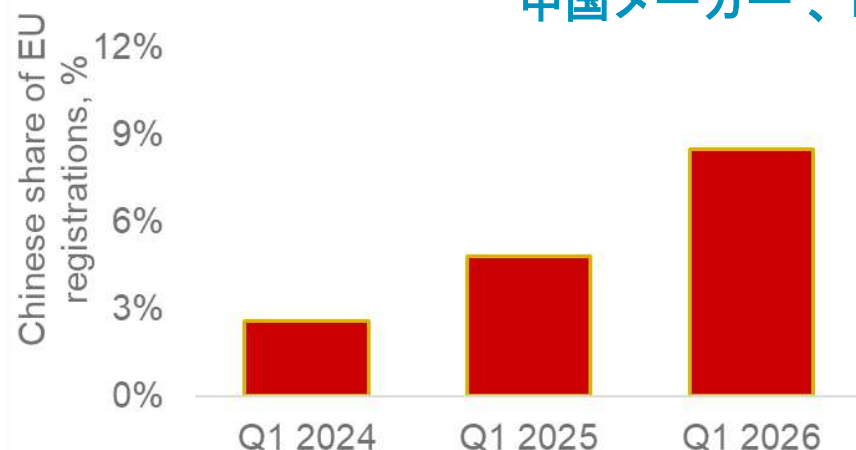
米国は欧州に比べて燃料価格と食料品価格の急騰にそれほど反応しない

- US CPI は平均 2.5%、対してコア-CPI は 2.4%
- EU CPI は平均 2.0%、対してコア-CPI は 1.6%

米国のガソリン価格は欧州よりも構造的に低いまま

自動車需要の最新状況：政策が消費者の選択とメーカーの供給に影響

中国メーカー、EU と UK への参入を加速



欧州の BEV 政策のジレンマ

- BEV は CO₂ 軽減目標達成と罰金回避に必要
- 国産メーカーは中国メーカーと組めばフリート平均に対する罰金を回避できる
- EUにおける中国車のマーケットシェアは 10% 近く
- 今中国メーカーに門戸を開けると国産メーカーには長期的な影響が及ぶ

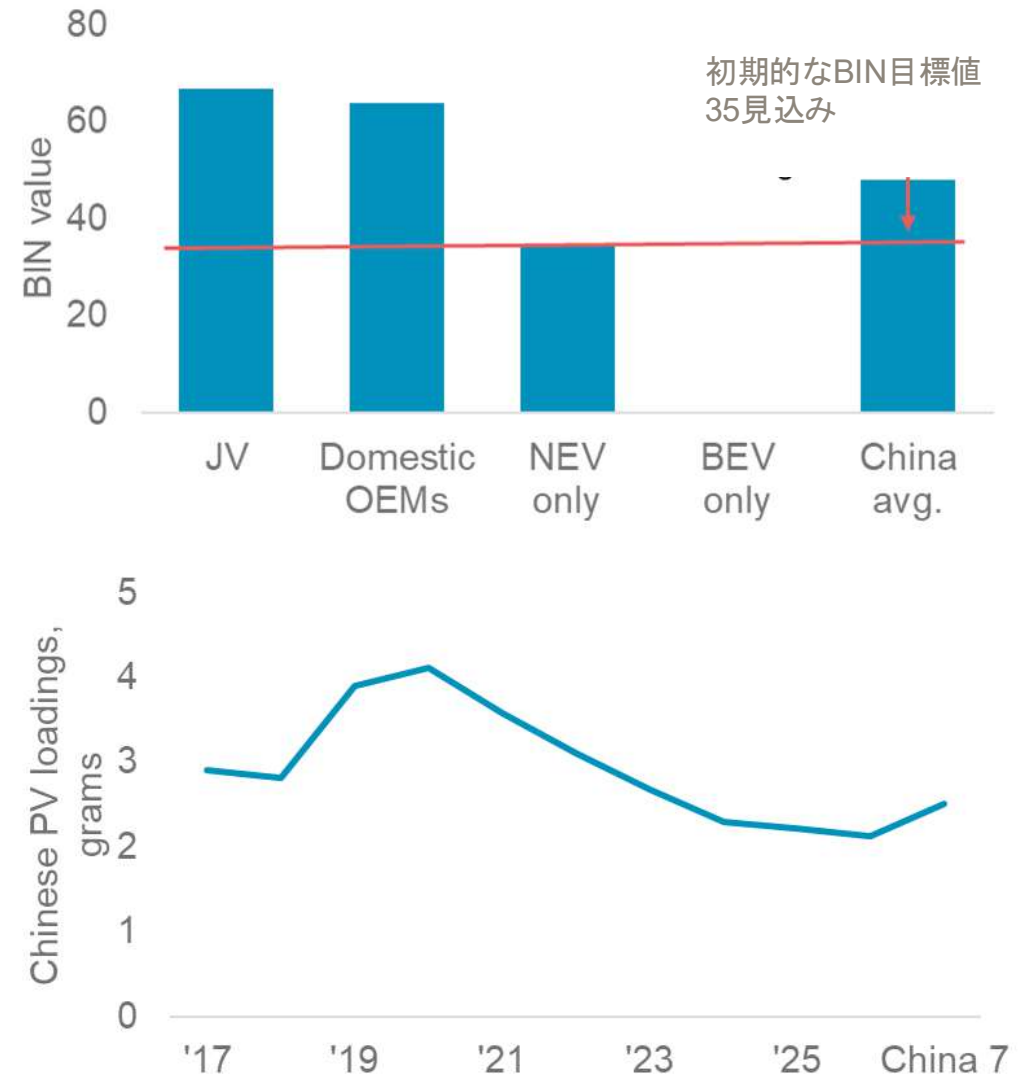
対照的に米国では ...

- フリート単位の CO₂ 軽減目標は緩和
- 中国メーカーは高い関税率と安全保障関連の貿易政策で事実上シャットアウト
- BEV 購入に対する 7500ドル税控除廃止
- 第1四半期の BEV 登録は前年比で -27%
- 再び EU からの輸入に高関税か

自動車需要の最新状況：排ガス規制の厳格化で PGM 使用量の増加

中国の「国 7」排ガス規制

- 規制草案は未発表
- 政府関係者によると、基準は二本立てプロセス
- フリート平均 NMOG (非メタン有機ガス目標値) 導入の可能性高い(米国の基準手法に類似か)
- PGM 使用量の増加は 10 % から20%と推測



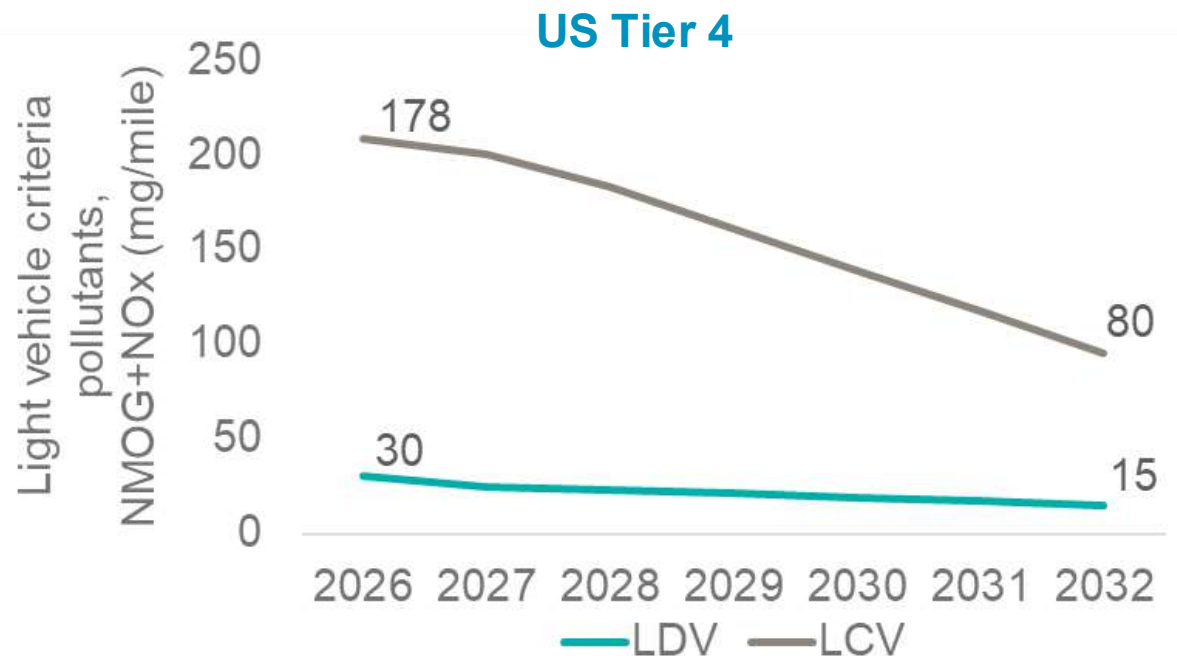
自動車需要の最新状況：排ガス規制の厳格化で PGM 使用量の増加

Euro 7 規制

- 2026年11月 – 新型車の型式承認
- 2027年11月 – 新型車の登録
- PGM 使用量は増加
 - ディーゼル車の窒素酸化物規制値の引上げ
 - 浄化装置の耐久性要件の延長
 - 実走試験の適用範囲の拡大

US Tier 4 規制

- 2027 年型式車から2032年型式車に適用
- フリート単位の窒素酸化物と 非メタン有機ガス目標値 の厳格化



水素需要の悲観論は、地域的なエネルギー保障への意識高まりで徐々に解消、今後の追い風となるか

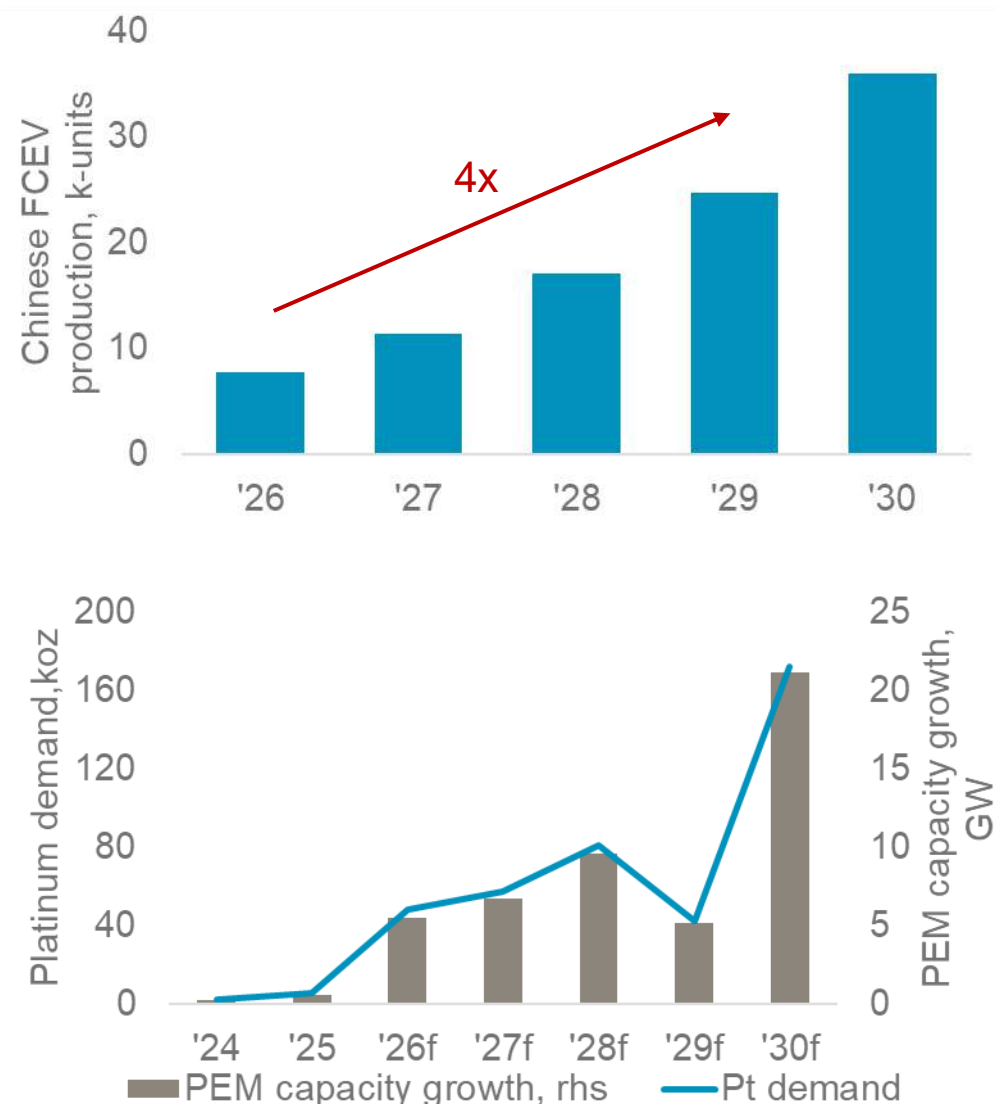
中国の第15次5カ年計画(2026年-2030年)

- 2030年の FCEV 目標: 10万台 (2025年は 3万1千台)
- 水素コスト: 25元/kg以下に
- 需要創出に焦点

欧州

- 2026年5月: 第3回目の水素オークション結果
 - 助成金11億ユーロ
 - 電解能力1.1GW、水素 1.3mtpa
- 追加性と時間的マッチングの基準緩和のため RFNBO (非生物起源の再生可能燃料) 政策の見直し加速
- ドイツは RED III を導入し、道路と鉄道の RFNBO の個別義務化目標を設定
 - 2030年までに、1.2% 達成か、120ユーロ/GJ の罰金
 - これにより約230kt の水素需要見込み

エネルギー安全保障が短期的にプラチナ需要の要因になる可能性



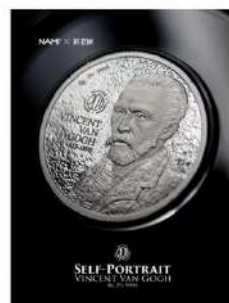
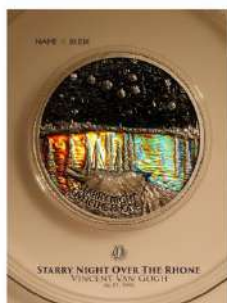
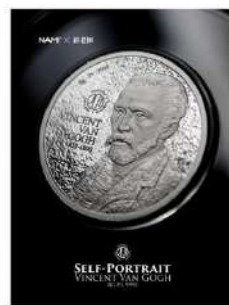
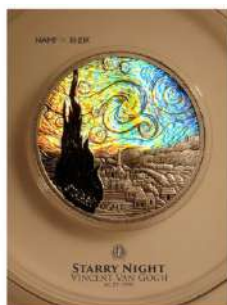
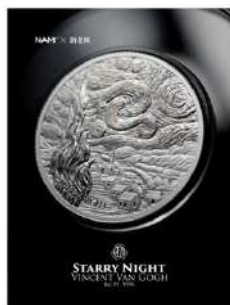


継続的なプラチナ不足

- プラチナ市場の供給不足は4年目に突入
- 地上在庫は持続不可能な低水準のまま
- 価格上昇による供給微増と需要微減は市場の需給不均衡是正には不十分
- 下半期は投資需要回復を支える要因が復活
- 市場の逼迫は続く



新たに発表されたプラチナのインゴット、 ビーンズ、ラウンド商品



WPIC の活動:

- 投資家のプラチナへの関心の高まりで WPICの見識を強く求めるパートナー
- 欧米投資家、第1四半期の強い需要も新規購入と買い戻しは限定的で不安定
- 中国は価格上昇と VAT 免税撤廃で逆風、第1 四半期の強い需要を抑制
- 中国と日本のWPIC パートナー、入門者と若者向けの新商品を導入

今後予定されている WPIC レポート :

- 金利予測と貴金属の価値予測
- プラチナの戦略的投資
- AI と電子材のプラチナ需要

上海プラチナウィーク 2026
7月第2週 (6日から10日)

SPW2026 PLATINUM 上海 铂金周
WEEK SHANGHAI



🕒 2026.7.6-7.10

📍 CHINA · SUZHOU

議題: プラチナ四半期レポート — 2026年第1四半期、 2026年の最新予測

1.初めに

CEO トレバー・レイモンド

2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズ レビュー

エドワード・スターク

3.現在の主なテーマ

エドワード・スターク

4.質疑応答

トレバー・レイモンド

エドワード・スターク



プラチナ四半期レポート2026年第1四半期
英語版([link](#))

プラチナ投資のエッセンス([link](#)):

- リースレートの高騰でプラチナ調達が所有に変わり 2025 年のプラチナ価格上昇をもたらしたか

プラチナ展望 :

- 高い PGM 価格がリサイクルを後押しするも逆風は消えず ([link](#))
- イラン戦争がプラチナ需要に与える直接的な影響は限定も、金利上昇とドル高が投資需要に重圧か ([link](#))



